



作業前のミーティング。楠那公民館前にて

■当日は、楠那公民館主催の「篠竹の除伐」^{しのたけ}のイベントも開催され、山本理事長と見勢井顧問が指導者として参加、後に合流しました。朝のミーティングでは、山本理事長から黄金山と楠那公民館、倶楽部との関わりや経緯の説明を受け、楠那公民館の坂本さんから『もりメイト倶楽部の皆さまと地域の皆さまで、黄金山の里山を守っていけると感じて

これからよろしくお願いします』と、挨拶をいただきました。

■その後作業エリア説明の後、佐藤さん、鎌田さんから安全上の注意事項について話があり、ラジオ体操を済ませ、班毎に作業用器具、工具を準備し、作業エリアまで班ごとに移動しました。

作業班は、A～Dの4班編成とし、**A班**は入り口の篠竹、笹の伐採、枝垂れ桜にからむツルの除去、立ち枯れサクラの伐倒。**B班**はヤマザクラ倒木の処理。径50センチと大木のため、是非材を活用しようと、見晴らし場所の椅子用に入り口の段まで運びました。**C班**はヤマザクラ倒木の処理の後、ヤマザクラにからむツルの除去。**D班**はヤマザクラにからむツルの除去と周りの除伐整理を行いました。いずれの持ち場もツルが元気！

■昼食後は雨を懸念して、早めに作業を開始。13時30分頃より小雨が降り始めたため、作業を切り上げ14時ころより下山をはじめ、最終班が公民館に到着したのは14時30分頃でした。公民館主催の篠竹の伐採の除伐作業と合わせ、作業道からエリア入り口の景観がすばらしく良くなりました。



ヤマザクラの玉切り・鎌田さん



径50センチを超える大きなヤマザクラを前に(B班)



黒一点。作業もはかどりました！(D班)



見晴らし場所：玉切りしたヤマザクラ。運ぶのに一苦労。



「楽しかった」と、体験参加された作業中の中山さんと木村さん。